

〔新入社員の声〕

入社2年半で感じたこと

齋藤 菜々

(株)シムコ 岩出山事業所

All about SWINE 61, 42

子供の頃から動物が好きで、将来は動物に関わる仕事がしたいと漠然と考えていた。

しかし大学では植物を専攻し、豚はもちろん動物に関してほとんど学ぶことができなかった。就職活動中に動物に関する様々な業種を調べていくうちに、動物と直接触れ合える環境で仕事をしていきたいという考えに気付き、現在の会社への入社を決めた。豚に触れたことはほとんどなく、豚舎の中に入るのも初めてだったため入社前は不安があったが、匂いや仕事環境に関しては全く気にならなかった。むしろ、毎日豚を見て心が癒されるため、天職だと感じた。

入社して2年半が経とうとしているが、現在はAI業務のメイン担当となり、雄豚の管理や精液発送業務のほとんどを任されている。調教を行う場合どのように扱えば未格上げの豚が乗駕するか考え、その結果初めて精液を採取できた際には毎回達成感がある。また、AIは1日で1サイクルの業務のため、毎日の発送業務を行っていくうちにどのような順序で作業を行えば1日の作業が効率良く終わるか考えられるようになり、一つひと

つの作業のスピードアップに繋がられた。

AI業務で一番重要な点は、客先と直接繋がっている部署であるため、客先からのクレームがないよう常に一定の品質の精液を発送していかねばならないことである。初めはとても重大な業務を任されたプレッシャーを感じていたが、今では自分がこの会社の精液の品質を保っているのだと誇りを持って仕事に励むことができている。私がAIのメイン担当となってからまだ一度も客先からのクレームは来ていないため、今後もこのまま維持できるよう管理を続けていきたい。

近年新入社員が増えてきており、それに伴い新人へ指導する機会が増えてきている。自分が一年目だった頃の様子を思い出し、当時の自分が理解できるよう噛み砕いた説明を心がけているが、現在の自分と同程度の仕事ができるように教育・育成することは難しく感じる。これからも試行錯誤しながら指導を続けていき、現在の自分のように担当する業務について誇りを持ち、常により良くしていこうと考えていけるような人材を育成していきたい。